

内水ハザードマップ

内水ハザードマップとは

局地的で短時間の集中豪雨(ゲリラ豪雨)によって、道路側溝や水路で排水し切れなくなった雨水があふれ、浸水が発生した場合を想定したものです。浸水する区域や深さを確認いただき、浸水被害軽減のためにお役立て下さい。

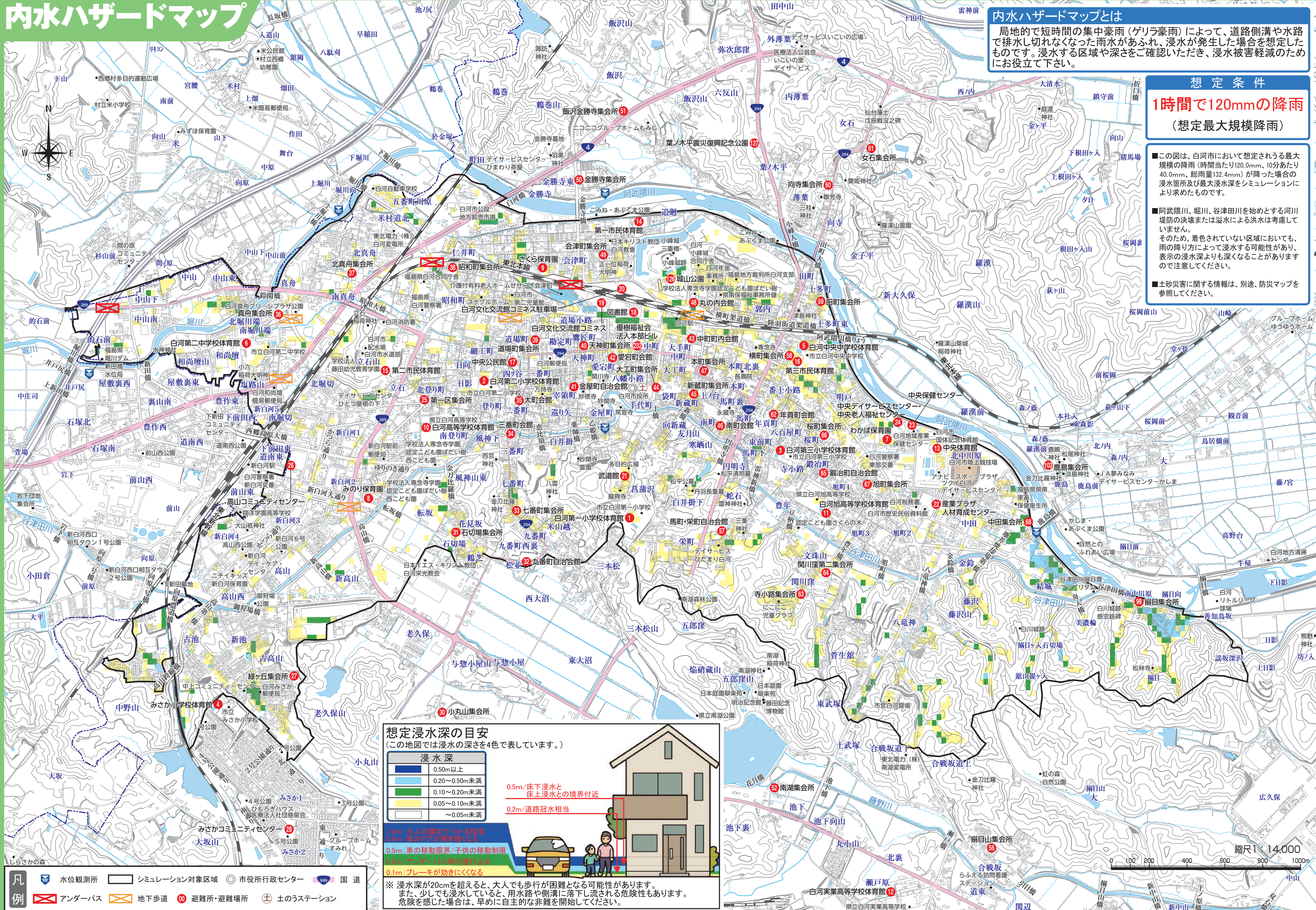
想定条件

1時間で120mmの降雨
(想定最大規模降雨)

■この図は、白河市において想定される最大規模の降雨(時間当たり120.0mm、10分あたり40.0mm、総雨量132.4mm)が降った場合の浸水箇所及び最大浸水深をシミュレーションにより求めたものです。

■阿武隈川、堀川、谷津田川を始めとする河川堤防の決壊または溢水による洪水は考慮していません。そのため、着色されていない区域においても、雨の降り方によって浸水する可能性があり、表示の浸水深よりも深くなる可能性がありますのでご注意ください。

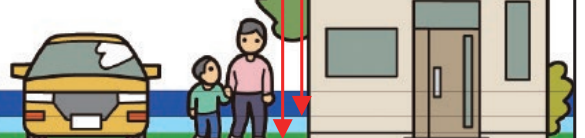
■土砂災害に関する情報は、別途、防災マップを参照してください。



想定浸水深の目安

(この地図では浸水の深さを4色で表しています。)

浸水深	目安
0.50m以上	0.5m/床上浸水と路上浸水との境界付近
0.20~0.50m未満	0.5m/車の移動限界/子供の移動制限
0.10~0.20m未満	0.2m/アンダーパスは車の通行止め
0.05~0.10m未満	0.1m/ブレーキが効きにくくなる
~0.05m未満	



※ 浸水深が20cmを超えると、大人でも歩行が困難となる可能性があります。また、少しでも浸水していると、用水路や側溝に落下し流される危険性もあります。危険を感じた場合は、早めに自主的な非難を開始してください。

- 凡例
- 水位観測所
- シミュレーション対象区域
- 市役所行政センター
- 国道
- アンダーパス
- 地下歩道
- 避難所・避難場所
- 土のうステーション